

令和元年 10 月

魚津市定例記者会見



日時：令和元年 10 月 1 日（火） 午後 1 時 00 分～午後 1 時 25 分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社

N I C E T V

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長、
企画政策課長

1. 市長からの発表事項

(1) 魚津の人口動態の状況

- ・魚津市の平成 30 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日の一年間の人口動態の集計結果（速報値）
- ・人口について、自然動態は△327 人、社会動態は△29 人 計 純増減△356 人
- ・純増減が、昨年の△226 人から、今回△356 人になった要因は、自然動態の出生数が減ったこと（H30 264 人→R1 227 人）と、社会動態の転出者数が増えたこと（H30 1,161 人→R1 1,286 人）が要因にあげられる。
- ・人口減は引き続き進んでいるが、社会動態については、ある程度均衡点の近くで推移するようになってきている。引き続きしっかりと対策を考えていきたい。
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

(2) 魚津市の観光施設・イベントの入込客数の状況について

- ・本年の 1 月から 8 月までの魚津市の入込客数
- ・昨年同期の 646,389 人から、本年は 712,161 人と 10.2%の増
- ・それぞれの施設の特色を活かしたイベントや展示の充実、遊具等の充実を図りながら更なる誘客に努めていきたい。
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

2. 教育委員会及び各部長からの説明事項

〈企画総務部長〉

- 「市長のタウンミーティング」を開催します。
 - ・10/19～11/29 市内 13 地区で開催
- （説明内容は別添プレスリリースのとおり）

〈民生部長〉

- うおづ児童センターまつり（10/5 ありそドーム）
- 第3回メディカルケアネット蜃気楼市民公開講座
「わたしの終活～もしも、を一緒に考えよう～」を開催（10/5 新川文化ホール）
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）
- 第13回ふれあい交流フェスティバル（10/12 魚津市障害者交流センター）
- 認知症地域公開講座 in うおづを開催（10/18 新川文化ホール）
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）
- 第25回魚津市環境フェスティバルを開催（10/19 ありそドーム）
・今回初めて産業フェア〇〇魚津と同時開催
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

〈産業建設部長〉

- 第15回魚津産業フェア「〇〇魚津」を開催
（10/19～20 ありそドーム・海の駅蜃気楼）
・産業観光ツアー、つくるUOZUプロジェクトによる「オリジナルゲーム体験ブ
ースの出典」や「ゲーム会社経営者による講演会」は今年度も開催
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

3. 質疑応答の内容

「魚津市の観光施設・イベントの入込客数の状況」について

《記者からの質問》

入込客数について、観光施設50万人超えで、イベントとの合計で70万人超え
というのは初めてのことか。

《回答》（産業建設部長）

70万人以上を記録したのは、平成21年以来、10年ぶりである。

「魚津の人口動態の状況」について

《記者からの質問》

20歳代の女性の転出が多いことなどから、対策として女性に魅力ある街づくり
という話をされていたが、具体的にはどのようなことを考えているか。

《回答》（市長）

これから新しい総合計画の策定もあるので、どういった街の要素が必要なのか、
また、現在あるものでも、もっとそれを伸ばしてはならないかなど、いろいろな意
見を聞いて考えていきたい。

働く場は必要であると思う。どうやって若い女性のワークする部分を増やすかな
どの話を民間企業の方々としていかなければならないと思っている。

《記者からの質問》

いま魚津市は、有効求人倍率はどのくらいか。

《回答》（市長）

1. 95倍くらいだったと思う。

《記者からの質問》

ほぼ2倍ということか。

《回答》（副市長）

富山県の求人倍率自体がほぼそのくらいである。全国で7～8位くらいのレベルである。ただ、若い女性が希望される職種があるのかということである。

《回答》（市長）

250人を下回る出生数（227人）というのはかなり危機感を覚えるので、やはり自然に任せればいいというわけにはいかないと思う。

《回答》（企画総務部長）

出生数については、過去最低を更新した。

《記者からの質問》

これまでは、平成30年の264人が過去最低か。

《回答》（企画総務部長）

資料にもあるように、平成26年に261人と落ち込んだ年があった。その年よりも低くなった。

《回答》（市長）

出生数の資料を見ていくと、200台後半から、グッと一段さがった感じがあるので、このあたりはしっかりと受け止めてやっていかなければならない。

《記者からの質問》

227人ということは、全市内で学校のクラスが7クラスということか。

《回答》（市長）

そういうことである。学校などいろいろなところに影響してくる。

「行財政改革の計画」について

《記者からの質問》

行財政改革の計画は、9月頃を目処にと聞いていたが、議会が終ったころになるのか。

《回答》（副市長）

議会の最終日に、議会から意見が出されるのではないかと聞いている。それを受けて、10月19日からのタウンミーティングにも臨みたいと思っている。

《回答》（市長）

そこで大体計画のフレームとしてはひとつの発射台が固まったということになる。それをベースに市民の皆さんに、いろいろ意見を言ってもらおうということである。

「魚津市の観光施設・イベントの入込客数の状況」について

《記者からの質問》

入込客数については、「孫とおでかけ支援事業」の無料の方もかなり増えているのか。

《回答》（市長）

増えてはいると思う。

《記者からの質問》

令和初年度ということもあって、やっと、おでかけしたくなるような年だったかなと思ったが。

《回答》（市長）

そういう雰囲気もあると思う。

《回答》（企画総務部長）

入込数については過去最高ではないと思われる。NHK大河ドラマ「天地人」のときと、水族館の大幅リニューアルのときに対前年比が大幅に増えたことがあった。